

♥ 第28回 愛の手紙コンクール ♥

友達に、家族に、動物や自然に対して、思ったこと感動したことなどを手紙や文で書いてみましょう

<たくさんのお応募をお待ちしています>



● 規定

400字詰め原稿用紙1枚（題も入れてください）

わかりにくい漢字にはふりがなをつけてください。

応募は一人一点です。

作品の裏に、学校名・学年・郵便番号・住所・氏名（ふりがなをつける）・電話番号を書いてください。

応募作品は返却しません。（入賞作品の著作権は主催者に帰属

・・・3年に一度冊子にするため）

● 選考委員

選考委員長：静岡理工科大学学長 木村雅和先生、他5名

● 賞

優秀賞 1点 5万円 （小中学生の場合は相当分の図書カード）

準優秀 4点 各1万円 （小中学生の場合は相当分の図書カード）

佳作 20点位 図書カード2千円分

それぞれに賞状をさしあげます。

● 応募締め切り

8月31日(木) までに各学校に提出してください。

● 発表

令和5年12月下旬 入賞者へ直接連絡します。

● 参考資料

第27回 愛の手紙コンクール優秀作品 3点（裏面に続く）

最後までやりとげるお母さん

笠原小 五年 中川 裕矢

ぼくのお母さんは、ずっと家にいるお母さんだった。でも、今は保育士として働いている。

お母さんは公園で一緒に遊んでくれたり、ご飯を作ってくれたり、ぼく達のお母さんをやりながら、みんなが寝てからたくさん勉強をしていた。大人も勉強するんだ、大人になってもテストがあるんだ、とぼくはおどろいた。

大事なテストを受けに行くお母さんを見送りながら、ぼくは心の中でたくさん応援した。テストは点数が足りなくてだめだった。お母さんはとてもくやしがつたけど、すぐに次のテストに向けて勉強を始め、見事合格した。

ぼくだったら、すぐあきらめてしまったなあ。自分のやりたいことを最後まであきらめないお母さん。大人になっても、新しいことにチャレンジする姿、カッコいいよ。お母さんと保育士、大変かもしれないけれど、がんばってね。

主催：袋井市文化協会

〒437-0125 袋井市上山梨4-3-7 TEL・FAX 49-3443

後援：袋井市・袋井市教育委員会・静岡理工科大学・袋井郵便局

おばあちゃん、わたしはげんき

今井小 一年 大沢 悠華

おおきいおばあちゃんが五がつになくなりました。九十七さいでした。わたしが一ねんせいになるのをまつていてくれたみたいです。

おばあちゃんは、おそうしきをして、ほねになつてしまいました。おはかにはいるまで、まいにち、おせんこうをあけておがみました。おばあちゃんのしゃしんは、いつもにつこりわらつていて、げんきだったころのように、

「ゆうちゃん、げんきかな。いいこだね。」
 といっているみたいです。

わたしは、ほいくえんからかえると、いつもおばあちゃんのいえでゆうはんをたべていました。おばあちゃんは、ぼつぐにししゅうしたり、あつぷりけをつけたりしてくれました。ふくやせえたあもつくつてくれました。

ふくはきれなくなつたけどおもいではきえません。(おばあちゃん、ゆうかはがんばってるよ。) つていっもしやしんにいいいます。

人生の分岐点

周南中 二年 大城 奏詞

小学生時代、何をやっても上手くいかない、生きる意味がない。そう思っていた時期がありました。その様子を心配してくれた先生に全てを打ち明け、最後にぼつりと、

「もう死にたいです」

そう言った時、先生の

「死にたいなんて言うな」

そんな声が教室中に響きました。先生は、(完璧な人間なんてこの世にいない、苦手なことの一つや二つ、あつてもいい) そんなことを教えてくれました。

こんなことを教えてくれた先生には、感謝してもしきれません。もし先生の言葉がなかったら、未来は変わっていたかもしれません。僕は今、先生のように自分と同じ境遇の子に寄り添えるような先生になるために、日々努力しています。これから、たくさんの壁に当たると思うけど、全力でがんばります。先生は僕の憧れです。